

スポーツ推進だより

平成28年3月 No.120



第30回岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会 (27.11.29)

スポーツ推進だより 目次

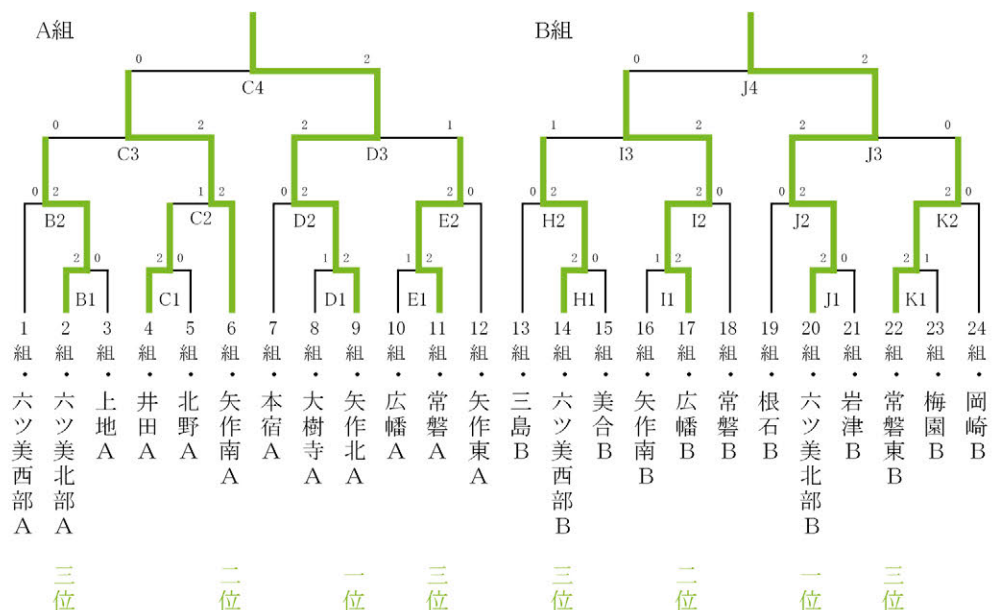
第30回岡崎市学区交歓ソフトミニバレーボール大会、岡崎市民駅伝体験レポート	2
岡崎中央総合公園ウォーキングマップ	4
中央第2ブロック研修会	6
第56回全国スポーツ推進委員研究協議会	7
第63回東海四県スポーツ推進委員研究大会	8

緑丘学区 近藤 康弘
根石学区 後藤 禎夫



準備体操を終え、9時30分に12コートで一斉に予選リーグが始まりました。本大会は基本的に各学区から2チームが参加してA、Bの2つのブロックに分かれて予選リーグを行います。各ブロックの中で12の組に分かれて予選を行い、各組の1位チームのみが決勝トーナメントに進める仕組みになっています。

各組の決勝トーナメントの結果、Aブロックの優勝は矢作北A、準優勝は矢作南A、3位は六ツ美北部Aと常磐A。Bブロックの優勝は六ツ美北部B、準優勝は広幡B、3位は六ツ美西部Bと常磐東Bという結果になりました。



来年のこの大会に向けて岡崎市にあるそれぞれのチームがまた練習を重ねて、それぞれの学区でソフトミニバレーボールを通じて多くの友情・いろいろな結びつきが生まれることを期待します。



Aブロック優勝
矢作北Aチーム



Bブロック優勝
六ツ美北部Bチーム

岡崎市民駅伝体験レポート

生平学区 原田隆志



やっと正月気分の抜けた1月17日日曜日、第67回岡崎市民駅伝が開催されました。我がチームサザエさんも意気揚々、今年もエントリーしました。中年オッサンチームですので、1部参加はたすきが繋がらない、可能性の高い2部での参加です。私は5区、3.6km区間です。昨年も同じコースですので今年は何とか14分を切るタイムでと気張って練習したのがいけなかった。左右のひざを痛めてしまって走るところか歩くのもままならない状態となってしまいました。駅伝は6名での参加ですので一人かけると大変、金曜日に整形外科で痛み止めの注射、土曜日に針治療で何とか走れるまでに回復、当日を迎えました。

5区はアップダウンが多いコースで、下りはひざへの負担が多く、たすきを繋ぐことが出来るかどうか不安で4区ランナーを待ってました。どうしたことが、意外に早い順位で来るではありませんか。これは責任重大、何とかアンカーにたすきを繋げないと打ち上げで標的にされる、ひざなんかどうでもなれ状態でスタートです。岡工(ちなみに母校)から右に曲がり、日清紡の下りが難関です。出来るならブレーキをかけず走りたいけど無理、なるべく負担にならないよう走りましたが、やっぱり4人抜かれました。左に曲がって住宅街、沿道での沢山の応援を頂き、ちょっとペースアップ、何とか2人を抜いて国1のガード下へ、ラストスパートだと意気込みましたがほとんどスピードが変わっておらず美合小学校へ、アンカーが見えました、何とかたすきを繋ぐことが出来ました。いやーよかった。タイムは目標からはほど遠い15分20秒、まあ、たすきが繋がったからOKとしよう、JAの皆さんから頂いたお汁粉がうまかった。チームサザエさん、順位は55位でしたが満足です。来年は1部という意見もありましたが多分却下、楽しんで走る2部でまた参加します。

岡崎中央総合公園歩いてみました!

生平学区 原田 隆志

出発・ゴールは美術博物館です。

コースの距離 5300m。所要時間 約2時間程度。

トイレは美術博物館駐車場、バーベキュー場にしかありません。出発前にどうぞ。

中央総合公園にこんないいところがあったのかと嬉しくなります。

リュックに弁当・水筒を入れてぜひ歩いてみてください。

名港トリトン
名駅ツインタワーも
見えます。



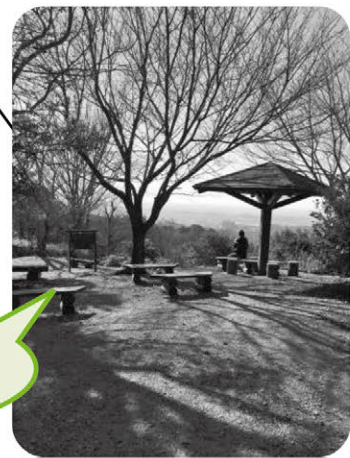
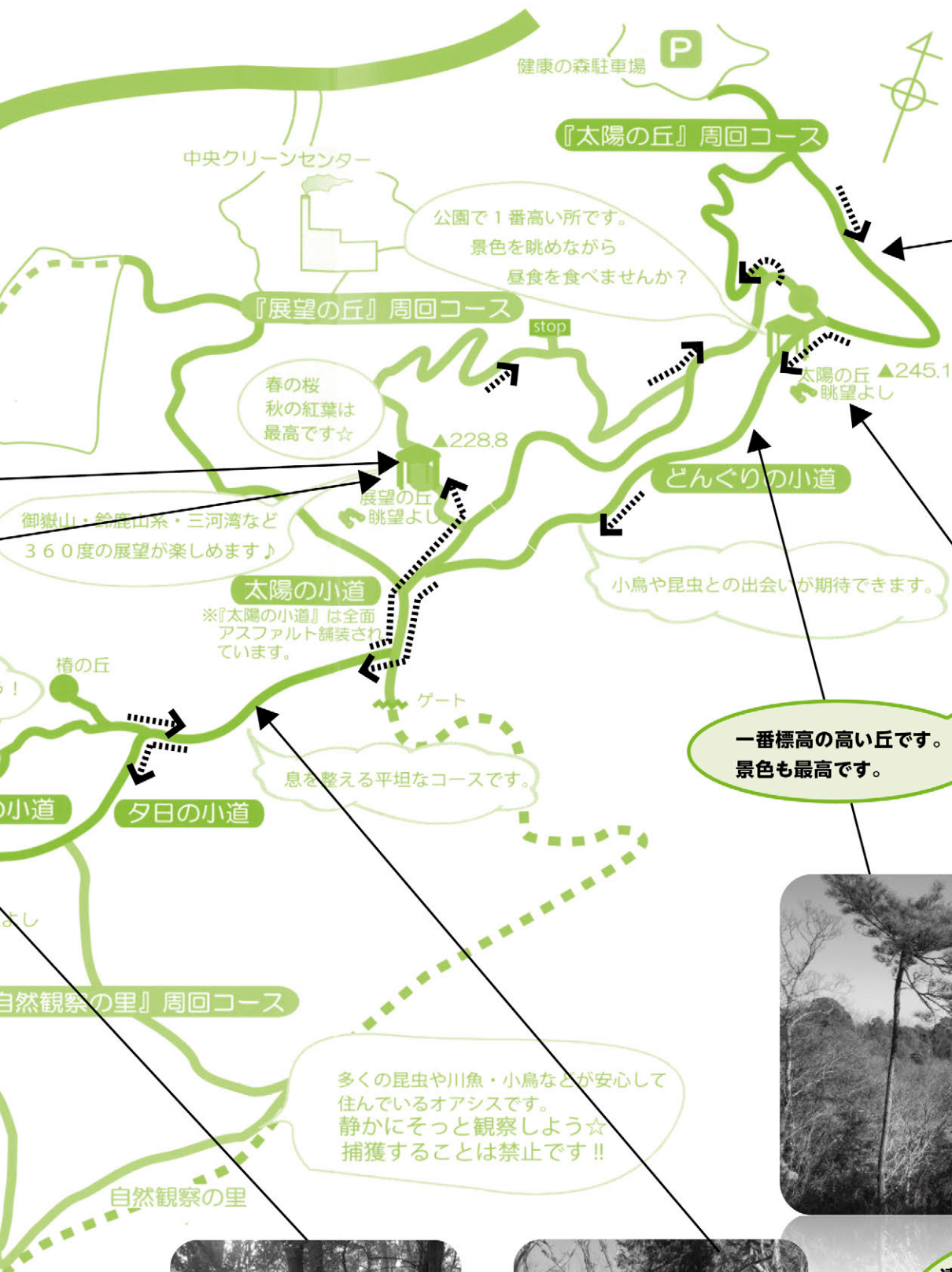
門をくぐったらゴールです。
池の鯉が迎えてくれます。



應山居で一服
景色を見ながら喉を
潤してください。



眼下に中総が
見えます。
オ!中学生テニス
頑張ってるな!



急に竹林になります。

一番標高の高い丘です。
景色も最高です。

遠く本宮山が
見えます。
ベンチがあります。
お弁当にいかがですか。

中央第2ブロック研修会

愛宕学区 柴田 耕治

去る11月1日（日）、井田小学校の運動場並びに体育館において中央第二ブロック（井田、広幡、連尺、愛宕の4学区）の研修会が開講されました。当日行った実技研修の種目は「スポーツ吹矢」と「ティーボール」の2種目でした。研修の指導を受けたのは各学区の体育関係者約60名程の皆さんで、講師につきましては「スポーツ吹矢」の方は愛知県スポーツ吹矢協会からお招きして主な実技指導をして頂きました。研修は2種目同時に行うため4学区が2班に分かれて交代で各種目の研修を1時間ほど受講しました。

スポーツ吹矢



体育館で行われた「スポーツ吹矢」の方は、長さ120センチの筒と長さ20センチほどの矢を使い、5メートルから10メートル先にある直径33センチの3色の円をもつ的を目がけて、筒の先端に取り付けた矢を吐く息によって放つという競技であります。しかし、吐くタイミングが合わず矢が飛ばなかったり落下したり、また飛んでも違う方向にいったりして、最初はさすがに緊張もあり皆さん非常に苦勞を重ねていたようでした。それでも何回か経験しているうちに飛ぶタイミングが分ってきたのか、慣れるにつれ的にもあたる人が増えていったように思います。「スポーツ吹矢」は息を使って飛ばすことから呼吸法が大事であり、それによって集中力と精神力が養われ、なおかつ脳の老化防止、高血圧の予防、ストレスの解消といった健康にも効果のある気軽なスポーツです。また老若男女の区別なくゲーム感覚で楽しめる気軽なスポーツだと思います。

ティーボール

もう一つの「ティーボール」は運動場で行われました。こちらはソフトボールに近い競技であります。投手はおらず、代わりに打者がバッティングティーという高さの変えられるゴム製の台に、ソフトボールより一回り小さい(大きさについては大小4種類あり)ボールを置き、それをポリウレタン製のバットで打って飛ばすという競技になっています。守備も6人の内野と4人の外野の10人で守り、打撃も基本は10人で攻撃するというソフトボールとほぼ同じ感覚で行える競技であります。もちろんボールの持つ感覚、飛ぶ感覚、細かいルール等は違ってきますが、こちらも老若男女の区別なく楽しめる気軽なスポーツとなっています。

当日は絶好の秋晴れのもと、各学区の皆さんが初めて体験するスポーツに熱心に取り組まれておりました。最初はバットでボールを打つのではなくティーを打って倒してしまったり、ティーだけが飛んでしまったり、守ってもボールが手につかなかったりでしたが、最後は皆さん笑顔でグラウンドを後にされました。どちらの種目も誰でも楽しめる競技なので、多くの人に経験して頂きたいと感じました。



第56回 全国スポーツ推進委員研究協議会

連尺学区 杉山 まゆみ

平成27年度全国スポーツ推進委員研究協議会が愛媛県武道館にて11月12日(木)、13日(金)の2日間開催されました。岡崎市からは関会長と私の2名で参加して参りました。

今年は「未来につなげよう!スポーツ文化」をメインテーマに掲げ、2020年東京オリンピック、パラリンピック競技大会の開催が4年後に迫る中、平成29年開催の「愛顔つなぐえひめ国体、えひめ大会」を見据えた本協議会には全国から3,000人を超える参加がありました。

開会式では文部科学大臣表彰(84名)、スポーツ推進委員功労者表彰(179名)等の表彰が行われました。



続いて「スポーツと地域創生」と題しFC今治オーナー、サッカー元日本代表監督岡田武史氏の講演がありました。監督としての経験の中ご自身が努力された事、日本サッカー界の「育成改革」に情熱を注がれた事等をご紹介されました。試合は勝つもので勝つ気持ちを保つ事が重要であると。特に日本人は勝つ事に対して美学に酔い、逃げ道に走る傾向にあるそうです。世界で戦う為の型を作る事が大切だと言われます。岡田氏は今、監督に「指導者とは覚悟を決める事、腹をくくる事」とご指導されています。私はご自身が嫌われ役に徹し、チームの為に改革され続けた岡田氏には尊敬の念を抱きました。

次に2020年東京オリンピック、パラリンピック競技大会が地域にもたらすレガシー～次世代につなぐ地域スポーツを目指して～をテーマに、早稲田大学スポーツ科学学術院教授間野義之氏をコーディネーターとしてシンポジウムが開かれました。2020年に向け全国各地にオリンピックムーブメントが広がることにより、誰もがスポーツに親しめる地域スポーツの環境の整備が期待されている中、社会に生み出されるオリンピックレガシーについて、スポーツ推進委員に求められる役割を考える機会となりました。

2日目は会場を松山市立子規記念博物館へ移し「スポーツツーリズムが地域にもたらす効果」～地域の多様な主体が連携、協働する取り組みの推進～をテーマに、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構理事の青木淑治氏をコーディネーター役とし3名の事例発表がありました。主にスポーツ観光の地域活性化を目指し取り組んでいるといった発表でありました。



最後に研究大会を終え感じた事は、スポーツの持つ力とは①オリンピック・パラリンピック=競技力・エンターテインメント、②レクリエーションスポーツ=健康保持・増進・エンjoyメントの2つに分類されますが、スポーツの好きな人も嫌いな人もスポーツをする「きっかけ」を作ったり「継続」する為にも、私達スポーツ推進委員は、実技の指導、助言を行う役割を担っていることを改めて認識致しました。今後、個々の生涯スポーツの発展に寄与して参りたいと思いました。

第63回 東海四県スポーツ推進委員研究大会 に参加して

岩津学区 市川 敏行

平成28年2月19日(金)・20日(土)静岡県熱海市において、全国連合設立40周年記念第63回東海四県スポーツ推進委員研究大会が行われ、全体で約2,500名の推進委員の方が参加されました。

岡崎市からは事務局の犬塚さんを含めて24名が参加して、2日間にわたり楽しい研究大会を経験してきました。1日目は世界救世教救世会館において開会式、平成27年度東海四県スポーツ推進委員功労者表彰、中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰がありました。その後、アトラクションが2団体(熱海芸妓連・加藤学園高等学校チアリーダー部)により紹介されました。特にチアリーダー部はアメリカの大会で準優勝、日本の全国高等学校ダンスドリル選手権大会でも準優勝など、輝かしい実績とその若さあふれるパワーに圧倒されました。



講演の演題は「身体論 一心と身体はつながっている」講師は齋藤 孝教授(明治大学文学部)で、最後まで参加者を眠りにつけず、立ったままで呼吸法(臍下丹田に気を集める)とかスポーツの楽しみ方、教え方など参加者に手ほどきをしながら説明されました。私の今までの東海四県研究大会参加の中で、一番集中?出来た講演でした。齋藤氏は話術も素晴らしくTBS系のテレビ出演もされています。



終了後、恒例の西三河スポーツ推進委員の交流会があり、中ブロック表彰者2名、東海四県功労者が8名(私も含め)表彰状を受け取りました。

2日目の第3分科会は熱海後楽園ホテルで行われ、焼津市が「地域交流スポーツ祭」で結ぶ地域の「和」というテーマで、5種目の競技を5月から11月までの間に行い、総合得点により年間優勝を決めるという大会が紹介されました。その中でメディシンボールという球送りゲームが新しく(説明は省きます)楽しめそうに思いました。その後、女性部による健康体操が紹介されました。音楽(365日の紙飛行機等)を使い、参加者全員が一緒に体を動かしながら、楽しくストレッチをすることができました。岡崎市の「モーニングストレッチ」を思い出しました。



終わりに、体育指導委員時代を通じて15年間地域の方々や、推進委員の仲間に支えられこの今日に至りました。平成23年にスポーツ振興法が「スポーツ基本法」に変わり約4年、スポーツ推進委員としての役割が十分に果たしているかわかりませんが、これからも皆さんと力を合わせて、生涯スポーツを多くの人々に広げて行くことを新たに頑張りたいと思います。これからもよろしく願いいたします。そして、有難うございました。

発行 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会
編集 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会広報部
事務局 ● 岡崎市市民生活部市民スポーツ課(TEL23-6363)